

■受賞書籍『環境容量からみた日本の未来可能性』の謝恩案内

この度お蔭さまで、第12回環境情報科学センター賞、特別賞を受賞いたしましたので、受賞対象書籍『環境容量からみた日本の未来可能性』の受賞謝恩案内をさせていただきます。

拙著は、日本のヒトと自然の関係を環境容量としてとらえGISによりマップ化した環境ガイドブックです。CO2固定容量、クーリング容量、生活容量、水資源容量、木材資源容量の5つの指標を設定し、日本列島全体の環境容量を、地方区分、都道府県区分、市区町村区分で包括的に試算しています。また最新の三次元GIS画像をはじめ、レーダーチャートやリストにより可視化し、47都道府県を見開き構成でオールカラーで編集しています。

私たちが生活する市や町や村など、住む環境のヒトと自然の関係を視覚的に紹介し、これから迎える時代の、生活や社会のあり方を考えるためのガイドブックとして編集しています。明日の地球と子どもたちのために、少しでも新しい方向を示せ、お役に立つことを心より願っています。環境計画や防災計画、またGISに携わる研究者や自治体の専門家の方々のみならず、全国のみなさまに、お読みいただけましたら幸いです。

また「GISの父」と称され、地理情報システム(GIS)の国際的なベンダーである、米国Esri社社長のJack Dangermond博士から、和書では初めての大変光栄な序文をいただいています。この間の環境問題の推移や、これからの人間社会や自然とのかかわりを考えていくうえでの貴重なメッセージが託されています。ぜひご一読ください。

環境教育や、地域情報の共有化・相互理解を進め、私たちの生活や社会、また国土や環境を見直し、未来可能性を高めることに寄与することを願っております。どうぞよろしく願いいたします。

【第12回環境情報科学センター賞、特別賞受賞】

「ヒトと自然の関係の可視化を目指し、日本の環境容量をマップ化した書籍の出版」(2012、大西文秀)

【書籍概要】

書名：『環境容量からみた日本の未来可能性』—低炭素・低リスク社会への47都道府県3D-GIS MAP—

英名：GIS Map Book for Japanese Futurability

著者：大西文秀

発行：大阪公立大学共同出版会・OMUP、2011年

体裁：B5版、184ページ、オールカラーページ、上製本

価格：2800円(本体価格)

ISBN：978-4-901409-83-4 C3051

HP：<http://www.omup.jp/modules/tinyd1/index.php?id=92>

【謝恩割引価格】

●学生の方：1800円(税、送料、振替手数料込み)

●一般の方：2200円(税、送料、振替手数料込み)

【申し込み方法】

★お名前、部数、郵便番号、ご住所、電話番号を明記の上、下記アドレスまでメールでお願いいたします。

★全国47都道府県での環境容量に関する講義や講演の実現を目指しております。ご関係の都道府県や市区町村で機会がございましたら、お問い合わせいただけましたら幸いです。よろしく願いいたします。

★申込みアドレス：f-onishi@m3.kcn.ne.jp

【目次】

はじめに

本書によせて ジャック デンジャモンド

本書の使い方

第1章 ヒト・自然系とエコモデル

1. ヒト・自然系
2. 環境容量が対応する領域
3. ヒトと自然を学ぶ5つのエコモデル
4. 日本のCO2固定容量
5. 日本のクーリング容量
6. 日本の生活容量
7. 日本の水資源容量
8. 日本の木材資源容量
9. 日本の行政区分
10. データと科学をつなぐ地理情報システム
11. エコモデルの相互関係と森の働き

第2章 ヒト・自然系のキャパシティ

日本の環境容量

1. 北海道地方の環境容量（北海道、北海道地方からのイメージ）
2. 東北地方の環境容量（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、東北地方からのイメージ）
3. 関東地方の環境容量（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、関東地方からのイメージ）
4. 中部地方①北陸・甲信越の環境容量（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、北陸・甲信越からのイメージ）
5. 中部地方②東海 of 環境容量（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、東海からのイメージ）
6. 関西地方の環境容量（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、関西地方からのイメージ）
7. 中国地方の環境容量（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、中国地方からのイメージ）
8. 四国地方の環境容量（徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国地方からのイメージ）
9. 九州・沖縄地方の環境容量（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、九州・沖縄地方からのイメージ）

第3章 未来可能性へのシミュレーション

- 環境容量と流域圏からみた低炭素社会
- 環境容量を超えることによるリスクと不合理の増大
- 国土と日本人が目指す方向
- 環境の変動パターン、新しいシナリオ、そしてゴール
- 環境容量を活用したシナリオ・シミュレーション
- 森と文化がささえる日本の環境容量
- 東日本大震災を経験した世代の使命

付録 3D-GIS 全国9都道府県 環境容量マップ

参考文献

おわりに